

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	メディア2	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツ健康学科三年制	コース名	スポーツビジネスコース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	開講時間	講義		
教科書/教材	レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	角田知義		実務経験の有無・職種	クリエイティブ・ディレクター	
学習目的					
人を繋げるコミュニケーション・ツールとしてのメディアは、20世紀の間に大きな技術変化を遂げました。21世紀に入り本格的な情報化社会の到来と共にその役割は多岐にわたり、人の存在すらもメディアであると言われるようになっていきます。また、21世紀の特長であるインターネットとデジタル技術、技術変化は社会変化を伴い、その中にあるスポーツの有り様も大きく変容し、メディアで伝えられる情報によってスポーツの存在意味も変貌を遂げています。本授業では、私たちの生活とスポーツの関係を形作る重要な役割を担っているメディアの理解を目的とします。					
到達目標					
前期で習得したメディアの理解を更に推し進める為に、現代社会における技術発展によってもたらされた、マスメディアからパーソナルなメディア重視への社会変化を理解し、個人の中で活用できるメディア・リテラシーの力を構築することを目標とします。					
教育方法等					
授業概要	この授業はメディア・リテラシーを理解、習得をするための「基礎的な言葉、概念、隣接分野の知見」等を習得するための座学となります。抽象的な概念で全体像を理解することで始めてメディアの世界と向き合う事が出来ます。その後、スポーツの世界の中でメディアをどの様な形で活躍させる事が出来るのかをシュミレーション等を交え、簡単な演習をしながら理解を重ねて行きます。				
注意点	日常生活で当たり前のように触れているメディアに対する視点を変える事が必要になります。視点を変えるという事は意識を変えないといけません。単なる批判、無責任な評論は思考の混乱を招くだけです。論理的、客観的にモノを見る目を養う事を重視します。授業中は集中してノートを取り、毎時間必ず「授業振り返りシート」を提出します。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができません。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	レポート	20%	宿題レポート、課題を出します。		
	テスト	30%	授業理解度を確認するための記述形式のテストを行います。		
	振り返りシート	35%	毎時間、授業内容を振り返りまとめ、時間終了時に必ず提出とします。未提出は減点になります。		
	受講態度	15%	出席状況、遅刻の有無、受講態度を評価します。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	情報発信の本質を考える（1）		メディアを通して、伝えたい内容を分かり易く、しかも個性的に伝える方法を学びます。		
2回	情報発信の本質を考える（2）		メディアを通して、メッセージや出来事の魅力を客観的に表現する方法を学びます。		
3回	メディアの可能性（1）		マス・メディアからSNSへのメディアの変遷について学びます。		
4回	メディアの可能性（2）		メッセージやメディアの変遷過程について学びます。		
5回	メディアの可能性（3）		SNSを活用するために知っておくべき、SNSの本質とその危険性について学びます。		
6回	スポーツとコミュニケーション（1）		ファンへのメッセージについて学びます。		
7回	スポーツとコミュニケーション(2)		スポーツからの人々の健康へのメッセージについて学びます。		
8回	スポーツとコミュニケーション(3)		スポーツからの社会へのメッセージについて学びます。		
9回	スポーツと地域広報力を考える(1)		「スポーツと地域活性化」をテーマとして、そのコンセプト作成方法について学びます。		
10回	スポーツと地域広報力を考える(2)		伝えたいストーリーを基に、コンセプトをストーリーにする方法を学びます。		
11回	スポーツと地域広報力を考える(3)		文字表現、文章表現を考えながら、コンセプトをキャッチコピーにする方法を学びます。		
12回	スポーツと地域広報力を考える(4)		視覚的（映像）、聴覚的（音楽）な要素を考えるイメージ戦略について学びます。		
13回	スポーツと地域広報力を考える(5)		アイデアを出すための思考方法について学びます。		
14回	スポーツと地域広報力を考える(6)		スポーツでの地域活性化、メディアの果たす役割について学びます。		
15回	後期まとめ		講義内容での学習内容について要点を確認し、期末試験に向けた復習を行います。		